

08/31・米9月利上げ言質与えず フィッシャーFBR副議長講演 (29日) < 1 >

中国経済など見極め「正常化、慎重に」 市場「9月見送り」優勢

- ・日本7月鉱工業生産0.6%減 中国向け電子部品不振
- ・川内原発1号機フル稼働 来月10日にも営業運転

09/01・中国の景況感悪化鮮明 8月製造業指数 (PMI) 50割れ 3年ぶり低水準

日経平均、一時450円超安 上海株も続落、一時4%安に

- ・インド堅調7%成長 (4-6月) 消費伸び資源安も追い風 < 2 >

09/02・日本株下落、再び加速 日経平均724円安 下げ幅今年3番目 < 3 >

- ・カナダ景気後退 4-6月GDP0.5%減 原油安が打撃
- ・米新車販売3.3%増 8月年率換算1780万台 12年ぶり高水準

09/03・中韓首脳会談 (北京2日) 日中韓首脳会談来月末にも「早期開催に協力」 < 4 >

中韓「蜜月」印象づけ 習氏「これまでで最良の関係」朴氏を厚遇

- ・新興国企業ドル債務重く 10年で3倍、3.3兆ドル 通貨安で負担増 < 5 >
- ・習政権「強い中国」誇示 抗日式典軍事パレード
習氏演説、人民軍30万人削減 (現在230万人) 対日批判抑制を日本政府が評価
- ・欧州難民管理、見直し要求 独仏伊、EUに共同文書 「公平な分担」求める

09/04・日本株大幅安の8月、外国人の売り越し最大2.5兆円 国内勢は買い向かい

国内は個人・年金が買い それぞれ5000億円前後 4日日経平均反落1万8000円割れ

- ・日本実質賃金7月0.3%上昇 ボーナス伸び鈍く 消費押し上げ効果限定的
消費性向 (所得から消費に回す割合) 2.8ポイント下げ 家計、消費より貯蓄
- ・欧州中銀総裁 量的緩和拡充排除せず 景気認識を下方修正
- ・EUの難民受け入れ分担案、ハンガリー首相「幻想」 国境管理、軍隊投入も

09/05・米雇用8月17万人増に鈍化 失業率は5.1% (7年半ぶり低水準) に改善

⇒ポイント解説あります

- ・日経平均7カ月ぶり安値 終値390円安の1万7792円
週間は1344円下げ、7年ぶり下げ幅 今年の上昇分をほぼはき出し
- ・NY株272ドル下落 円は119円近辺に上昇

09/06・G20 (主要20カ国・地域財務相・中央銀行総裁会議: アンカラ) 5日閉幕 < 6 >

共同声明: 米利上げ慎重に、元安けん制 通貨安競争を回避

米中痛み分け 人民元安を攻撃、利上げ批判で対抗 市場の混乱巡り確執

⇒ポイント解説あります

<1>

9月利上げを巡る F R B 高官の発言
「まだ結論を出していない」 「中国経済をいつも以上に 注視している」(フィッ シャー F R B 副議長)
「数週間前より必然性が低 下した」(ダドリー・ニュー ヨーク連銀総裁)
「議論の余地がある」(ロ ックハート・アトランタ連 銀総裁)
「可能だとの見方は変わっ ていない」(メスター・ク リーブランド連銀総裁)

<2>



<3>



<4>

中韓首脳会談のポイント
中韓関係は前例のない速いス ピードで発展
朝鮮半島の緊張を高めるい かなる行動にも反対
朝鮮半島の非核化目標を堅 持。6カ国協議を早期に再開 すべきだ
10月末や11月初めを含めた都 合の良い時期に韓国で日中韓 首脳会談を開催

<5>



6 <6>

G 20 共同声明のポイント	
世界 経済	成長率は期待する水準に 達していない
	成長の達成へ構造政策の 役割を再確認
金融・ 為替 政策	いくつかの先進国で金融 政策の引き締めの可能性 が高まっているのに留意
	為替相場がファンダメン タルズから離れるのを避 けるとの約束を確認
	通貨の競争的な切り下げ を回避して保護主義に対 抗
	透明性の向上へ主要な政 策決定は(市場などと) 明確に対話を行う